

—NPO法人五泉トゲソの会は、こんな「総合的な学習のお手伝い」ができます—

総合学習の対応事例について

「文部科学省」は平成20年3月から新学習指導要領を示し、小学校では平成23年度、中学校では平成24年度から新たなる方針のもとで学習を進めることになりました。新学習指導要領では「総合的な学習時間」が105時間程度から70時間程度に減るものの「生きる力をはぐくむ」という理念実現に向けて「総合学習」の大切さは変わっていないと思います。

私どもNPO法人五泉トゲソの会は、15年に及ぶ活動をとおして学校が進めている「郷土学習」「体験活動」「環境教育」の総合的な学習のお手伝いをさせていただいております。五泉の「水」「環境」「トゲソ」を学ぶことは、五泉市の児童・生徒にとって「豊かな心」や「思考力・判断力・表現力」を図る上で大切な学習と考えております。

現在、トゲソの会では下記のようなプログラムを作り、スタッフの派遣も含め、総合学習のお手伝いをしております。「学習計画」を作成する際の、ご参考として検討いただけますようご案内いたします。

1、「総合的な学習」のプログラムとして対応できる事例（一例）

- テーマ「五泉の水の学習」
- テーマ「環境の学習」など

テーマ	学習のポイント	学習の特徴
①湧水やトゲソの学習 （授業） 1コマ（40分） 又は2コマがあると良い。	<ul style="list-style-type: none"> ・「環境の見張り番トゲソ」はどんな魚なのか？の勉強。 ・オスが子育てし、色々な地方名で呼ばれているユニークな淡水魚が地元で生息していることの紹介。 ・トゲソは家族にどんな名前と呼ばれてきたか「聞き取り」をする。その発表。 ・トゲソが何故「絶滅」しそうなのか？その環境悪化について考える。 ・最後に、どうしたら「水を汚したりしないようにできるか」を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントを使って説明します ・トゲソの帽子などをかぶり楽しく授業を進めます。 ・トゲソのクイズなどを出し、簡単なワークショップも実施します。 

テーマ	学習のポイント	学習の特徴
		学習の特徴
<p>②湧水の里・トゲソの里の見学 (現地見学) ※現地だけで最低2コマ(1時間20分)が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・トゲソの水路を観察／トゲソの看板説明／とばしっこ清水(新潟県名水指定H23.2)の観察と3ポイントで説明と体験をする。以下、その例。 ・トゲソなどの魚の観察(他の場所から捕獲してきたものを展示。手網による魚や生物捕りの体験は、現在、生息数激減のため中止) ・水温の計測、COD調査をしてみる。 ・水路にある植物の話。外来種の話。 ・湧水の試飲。味・匂い・冷たさ調べ。 ・湧水の出ているところの見学。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市のバスなどを借りてトゲソの生息現地を見る。 ・トゲソを見るだけでなく、水に触ったり水温を計ったり環境を肌で知る。 ・現地で魚取りをする。 
<p>③「水性昆虫と水の汚れ調査」又は「水の調査として濁度・COD調査」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近くの水路や川、早出川などに行って捕れた水性昆虫(生物・魚類)によって川の「汚れ度」を判定します。 ・また水の調査として濁度やCOD調査を科学的にしてみることも可能です。(※ただし調査試薬は学校が用意をお願いします。) ・川に入り、いろいろな生物がいることを実際に体験します。めったに出来ない体験で児童も楽しく学習ができます。 ・川の中の生物・魚類に対する関心が大きく広がります。 ・この体験をとおして「川の汚れを減らし環境をどうしたら守れるか」を学習していくことができます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・網を使って生物や魚捕りを体験する。  <ul style="list-style-type: none"> ・水質のCOD調査を行い水の汚れについて考えます。 

テーマ	学習のポイント	学習の特徴
<p>④水の浄化実験 （汚れた水を作り、実際にきれいにする仕組みを学ぶ）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水の循環についてパワーポイントを使って説明。その後、実際に「川の汚れた水」を作り、手順を踏んで実験を4ポイントで進めていく。 ・驚く、炭パワーの浄化力を知る。 <p>【実験手順】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①まず「砂・泥・葉っぱ・食紅」で汚れた水をつくる。 ②かき回し沈殿作用で除去する。 ③こし網で大きなものを除去する。 ④こし紙で細かな泥を除去する。 ⑤魔法の粉（活性炭）を使って色・汚れを除去する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・08年朱鷺M²で8月の「豊かな海の日イベント」で体験コーナーで実施。 ・実際に実験ができるということで人気の学習。 ・活性炭は冷蔵庫にもあり、その炭パワーを学習できる。 ・実際の「浄水場」で行っている水つくりと同じシステムを実験化したもの。 
<p>⑤水の汚れと「新潟水俣病」の事件—公害を二度と繰り返さないために—</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水の循環について ・水はどこで汚れているのだろうか？ ・水を浄化しているのは、誰？ ・新潟水俣病のことについて ・どうしたら、川を汚さないことができるのだろうか？（私ができること。家庭でできること、みんなでできること） ・地球が直面している環境問題—3Rの取組— 	<p>「新潟水俣病教師指導資料集」を参考に</p> 

※このほかにも様々な指導のお手伝いをしたことがあります。ご相談をどうぞ。

2、 五泉トゲソの会の指導対応について

基本的には、学習内容と場所、児童数に応じて「対応する指導者人数」を配置致します。2クラスでは「2人～3人」、3クラスでは「3人～4人」程度の指導者を考えております。

スタッフは、それぞれの専門家や環境学習の指導者として実績ある者を派遣いたします。当会では、十分な打ち合わせの後に指導のお手伝いを考えておりますのでご連絡をいただきたいと思っております。ご連絡があれば、「打ち合わせ」に出向きます。

【スタッフ】スタッフは現在9名程度の下記理事・会員で対応をしております。

番号	職 業	経 験 ・ 資 格	人 数
1	元会社員	染色・ニット関係従事他	1名
2	元地方公務員	建設・水道・下水道関連 (2級建築士・漁業組合員)	2名
3	元保育士	保育士免許	1名
4	元教員	小学校(植物)	1名
5	地方公務員	水産関係(博士取得者)	1名
6	調査関係会社員	技術士・ビオトープ管理士	3名
	計		9名

※5、6の方については仕事が「現役」なので休日などの対応となります。

3、 謝金について

謝金については、学校の予算措置に応じて対応致しますのでご相談ください。教育委員会で措置してある「総合的な学習謝金」や生涯学習課の「学校指導者派遣制度(1回/1人3,000円程度の謝金)」などをご利用されることで可能です。

4、 連絡先

■ 特定非営利活動法人 五泉トゲソの会
 事務局/常務理事 中村吉則
 住所 956-0862 新潟市秋葉区新町2丁目8-10-1
 自宅電話・FAX 0250-22-0271
 ※現地での連絡 携 帯 090-2235-3936
 ◇ Mail : togeso@beige.plala.or.jp
 ◇ ホームページアドレス
<http://www.geocities.jp/gosentogesoi/index.htm>
 ■ 事務所
 NPO法人五泉トゲソの会 担当浅井
 住所 : 〒959-1632 五泉市土堀295
 電話 : 0250-47-4439
 FAX : 0250-47-4440
 Mail : gosen@togeso.com 【24.5改訂版】